東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2118回例会　2010.4.1

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：
石山例会運営委員

■点鐘：枕山会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
熊木会員

■お客様紹介：
樺澤パスト会長

◆ゲスト：
東京武蔵村山ＲＣ
波多野稔様

■会長報告　枕山会長

いま鉄が注目をされている

「未来の農業の姿」アイデア募集（農水省主催）で、優秀賞になった、秋田県男鹿市尾去沢小学校の三浦千佳さんは、人工の血で作れるホウレンソウをイラストに描きました。鉄分をもっと多くできたら手術に使えると思い、人工の血が作れるかもしれないと考えました。子供の夢だけでは無いのです。東京大学などの研究グループは、遺伝子組み換え技術で、白米中の鉄含有量が従来の3倍もある新品種を作ったと言われています。深刻な貧血症に陥っている開発途上国の、食生活改善を狙っての事、と言われます。人は鉄無しには生きてはいけません。体にはくぎ1本分の鉄を含みます。
酸素を体の隅々に運ぶ、血液中のヘモグロビンは鉄が成分です。植物も鉄が不足すると生育が悪くなります。呼吸、光合成、デオキシリボ核酸（ＤＮＡ）合成、窒素固定に大きな役割を担っております。137億年前に宇宙が生まれ、鉄という元素が出来たといわれます。45億6000万年前に誕生したとされる地球は、重さの3分の1が鉄。そのため磁場を持つ珍しい天体であり、磁場が生命に有害な宇宙線を防いでいることは、みなさんご承知のことと思います。鉄器が農耕を促し文明を生んだことも。産業革命は鉄の磁性がもたらす電気の発見が起爆剤になった事も。普段は意識しないけれども、鉄がなければ人類はいなかったかもしれない。どこにでも有るもの、それが貴重ということでしょう。

當間眞会員の3月31日付退会届が理事会で承認されました。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸　繁男　野村　高章
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■幹事報告　　高橋幹事

■米山奨学会：
中国米山学友会総会in上海(締切間近)のお知らせ
2010年7月17日
於　上海
登録料　12,000円
ツアー代金　77,000円～

■財)交通遺児育英会：
交通遺児支援のお願いについての受理
「あしながおじさん」活動の紹介

■例会変更：
東京板橋セントラルＲＣ　5月14日(金)
→5クラブゴルフ大会へ変更

■回覧：「友」インターネット速報　No.422

■出席報告　　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
37	28	1	8	69.44

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名

■前々回出席率メークアップ修正後：88.24%

■前々会メークアップ者：
相羽会員：新所沢ＲＣ
赤木会員：理事会
飯田会員：立川ＲＣ
石山会員：東大和ＲＣ
野澤会員：地区委員会
漆原会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　　金子クラブ管理委員

■皆出席：
戸澤会員(16回目)
石山会員(3回目)

■ご結婚祝月：
隅屋会員、漆原会員
五十嵐会員、金子会員
飯田会員

■会員誕生祝月：
五十嵐会員、當麻会員
北久保会員

◆枕山会長：今日はスギヤマの入社式です。女性1名、男性4名です。若い人達なので花が咲いた様です。フレッシュマン、ガンバレ!!　野村会員いつも写真ありがとうございます。

◆波多野様：日頃お世話になりありがとうございます。この度はカナダ国際大会のご案内をいただき、残念ながら日程調整できず申し訳ございません。

◆高橋幹事：東京武蔵村山ＲＣ波多野様ようこそお越し下さいました。いつもありがとうございます。残り3ヶ月です。楽しくやりましょう。写真ありがとうございます。

◆相羽会員：2週連続で休み申し訳ありませんでした。野村さん写真ありがとうございました。

◆嶋田会員：波多野さんようこそいらっしゃいました。

◆町田会員：波多野さんようこそいらっしゃいました。

◆小町会員：久米川北口広場完成イベント、お陰様で盛況でした。ご協力ありがとうございました。

◆菱沼事務局：
立川ＲＣ創立記念式典のお手伝いに行かせていただきました。なかなか会う機会のなかった他地区の事務局の方々と交流が持て大変勉強になりました。このような機会をいただきありがとうございました。

◆五十嵐会員、北久保会員、當麻会員、山本会員
嶋田会員、樺澤会員：
写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　69,000円
累　　計　：1,174,680円

■委員長報告

■野村地区青少年育成委員

育成委員会の活動状況は、中学生の職場体験・高校生のインターンシップを自クラブの会員企業で実施できるように努力する事を第一目標としている。幸いなことに、東村山の中学校校長先生の職場体験に対する意識は高いので、当クラブの職場でも受け入れている会員企業は数社あります。アンケートを取りたいので、是非会員の職場をご提供ください。ロータリー関連のインターネットで職場紹介欄が在り載せたいと思います。

■當麻会員研修委員長

今月がロータリーの雑誌月間なので、「ロータリーの友」について、4ページを熟読していただきたい。ロータリーの綱領もしっかり把握願います。読まれざるベストセラーにしないで是非ご一読ください。
職場体験について、当社では6年前から受け入れています。今年は愛知県の中学校から修学旅行で東京に来て職場体験をしたい旨の連絡がありました。

■卓話

■卓話者：
山本次年度会長

インターンシップについて、青梅工業高校より男子4名が当社で職場体験をし、清掃業務というあまりやりたくない仕事にも関わらずキチンとこなし、挨拶等もちゃんとできてしっかりした生徒達でした。

■ＰＥＴＳ報告

2010年3月16日　メトロポリタン・エドモンド
「会長エレクト研修セミナー」

◆多田宏ガバナー挨拶

地区大会・ＩＭのお礼
皆様のお陰を持ちまして、成功裏に終わる事が出来て感謝しております。多田年度は71クラブでスタートし、沖縄西クラブが4人の為機能出来ず閉じる事になりましたが、沖縄に新規クラブが1つ立ち上がり71クラブとなり、現状維持となっております。
2580地区は12/31で13名の減少ですが、3200～3300名で行けそうです。この様な現況の中、クラブの増強が必要不可欠でありますが、闇雲な増強ではなく、ロータリークラブに合う相応しい人材の拡大が必要です。クラブ中心のクラブの強化が必要です。
2月の年次大会のビチャイナ・ラダクルさんの講演の中で、無理な増強はやめなさい、数合わせのクラブ増強は本来のクラブとしての機能を行えなくなります。
ハードルは高めなさい。ロータリアンはそもそも町一番の男を入れて来た。最近はメンズクラブでは無くなったが、まだ後遺症は残っている。安易な増強はクラブの二分化現象や、複数の島になってしまう現象を引き起こしてきた。
ロータリアンは職業奉仕を通して、1つの目標に向かう同士でなくてはならず、人生の貴重な一端の時間を捧げ、そして資産も出し、職業を通してのノウハウも提供し社会の為、世界の為に善行を行おうという非常に崇高な人々の集団である。
安易に増強を行うとロータリーの理念とは縁遠い人々が入ってくる。確かに50人よりは60人の方が財政面では豊かであるが、それ以上に失うものも多いことに気付いて欲しいと話されている。
私は次年度は、増強委員長ですので、ご理解の上皆様のご協力をお願いしたい。
次年度ＲＩ会長レイ・クリンギン・スミス氏は若い頃に財団の奨学生となりアフリカに留学されて学び、ロータリアンとなりロータリー歴50年という素晴らしい経歴の持ち主です。
「会長は会のエンジンである」という名言を紹介して、私の挨拶を締め括らせて頂きます。

◆上野ガバナーエレクトの挨拶

本日は会長・幹事の揃っての出席をお願い致しましたが、私なりの思い入れがございますので話の中で追々述べさせて頂きたいと考えております。まずは、会長・幹事が各々の役割と責務を自覚しお互いに協力しあいながら、1年間のクラブ運営を行って頂きたい。まず会長はクラブの色々な意味の代表であり、また会合の議事進行役でもある。幹事は扇の要である。そしてクラブ運営のキーマンであり、事務系の管理者であり、理事会メンバーでもある。また会員と会長の連絡役である。この二人のクラブ運営が、クラブの活性化にも重要である。
本年度ＲＩ会長エレクトテーマ(レイ・クリンギン・スミス)
BUILDING COMMUNITIES(ビルディング コミュニティ)
BRIDGING CONTINENTS(ブリンギング コンティネンツ)
地域を育み　大陸をつなぐ(ちいきをはぐくみ　たいりくをつなぐ)
◎各クラブは完全な自主権を持っている。そしてその自主権を発揮して欲しい。
◎足元からロータリークラブの本質である、アイサーブを実践して欲しい。そして、地域のコミュニティの基礎となって欲しい。
◎ロータリーの本質は職業奉仕にあり、奉仕の哲学、基本原理をよく理解しましょう。
・戸田パストガバナーの「国際ロータリーの最近の傾向」
・決議23-34　セントルイス宣言
この二つは是非読んで下さい。

◆上野ガバナーエレクトの方針

①ロータリーとは何か
自分の利益実現を求めようとする欲望とまた社会に何か奉仕しなくてはならないと言う義務感の二つがぶつかり合う中で、この二つの気持ちを調整する人生哲学である。
②ロータリー各クラブの役割
職業生活の成功とか、人生の幸せ、これらは奉仕の理論を実践してきたからこそ出来た事である。
ロータリークラブは奉仕の理想を色々と研究し絶えず新しく哲学を意識しながら、絶えず各ロータリアンに実践してもらい、また実証してもらう、これが各クラブの役割です。
③国際ロータリーの役割は何か
国際ロータリー定款、標準ロータリークラブ定款に書いてあります。解かりやすく言えば、ロータリーの綱領に基づく四大奉仕があり、その奉仕の枠組みから逸脱することなく、情報交換を行いながら奉仕の枠組みを強化する情報交換所です。
④クラブとＲＩとの関係
クラブの綱領、つまり四大奉仕の枠組みから逸脱しなければ、クラブには自主権があり、どのような奉仕活動を実践しても自由である。(綱領から逸脱しない限り、ＲＩは各クラブを束縛する事はできない)

◆綱領

有益な職業はいつも奉仕の理念に裏付けられている。サービスとは相手の立場に立って物を考え、相手に役立つ行動をする事。
①自分のクラブに魅力を付けよう。
種1業種を極力守り、来たんの無いメンバーの親交を通して、ノウハウを交換し合い、ロータリークラブに魅力をつけよう。
②分業社会に生きている各人の職業はお互いに尊敬されるべきである。
③ロータリーはすべて、生活に奉仕の理想を実践しよう。
④奉仕の理想に結ばれた職業人同志の世界的親交によって国際理解、平和の推進をしよう。(職業を通したアイサーブを実践して世の中をより良くしよう)

◆ガバナーとして各クラブに行ってほしい

①例会を重視してほしい(奉仕が生まれる場所である)
②職業分類の見直しを行い、しっかりと守ってほしい
③例会の中で、メンバー全員に卓話を行ってほしい
10分15分でもよいので、成功話、失敗談、業界裏話など何でも良いです。それによりメンバー相互の理解も高まり、溝も埋まりまた、ノウハウの交換も出来、これが職業奉仕の基本にもなっていきます。
④クラブ奉仕・職業奉仕
この二つ一体であり、クラブ奉仕の中での職業奉仕を行っていってもらいたい。
⑤社会奉仕・国際奉仕
クラブ内部の職業奉仕がうまく行われれば、自然に社会奉仕、国際奉仕も行われていく。
⑥ガバナー補佐と各クラブの関係
ＲＩでは年に4回のクラブ訪問を推奨していますが、物理的に無理。出来れば年に2回のクラブ協議会には、ガバナー補佐には出席をお願いしたい。各会長は気軽にガバナー補佐と連絡を取り合って下さい。
⑦地区委員の方は、自分のクラブにきちんと地区の報告を行ってください。
⑧米山奨学委員会
日本では民間奨学金制度では、最大の制度です。奨学生1人に各クラブよりカウンセラーが1人付きます。各クラブのカウンセラーの方は頑張ってください。
⑨ＣＬＰ(クラブリーダーシッププラン)
広角的なクラブの管理枠組みを提供するプランであり、どうするかは各クラブの自由である。しかし職業奉仕については触れられていないのが現実である。

◆ＣＬＰの構成要素

①会員の基盤の維持及び拡大増強。
②国内外の地域のニーズを組み入れそれぞれに適したプロジェクトにせよ。(社会奉仕)ロータリー財団関係に寄付をして、そのプロジェクトに積極的に参加しなさい。(ロータリー財団支)
③クラブの枠組みを超える指導者を養成しなさい。

私は地区の組織表に関しては、あくまで四大奉仕を基本に組織を作り上げました。

◆地区研修リーダー　戸田パストガバナーの話

まず手続要覧を買い、読んで下さい。(ゴルフのルールブックを持たず、また読まずにプレーするのと同じです。)
「入りて学び、出でて奉仕せよ」の活用。

■点鐘：枚山会長